



集中豪雨による土砂くずれ



武藏野市のコミュニティバス

東京都武蔵野市では、「ミニユーティバス」を観察した。高齢化進展の対応策として、武蔵野市が事業主体となり、民間事業者に運行を依頼している。全ての路線は駅を起終点とし、一周五kmを三十分程度で循環する。乗客数は年々増え続け、黒字経営のことであった。今回の研修成果を春日市の現状と照らし合わせ改善を要望したい。

況、被害の原因など分析し、地域にあつた対策を早急に検討する。上流における調整池の整備、水路の能力増強、水路のネットワーク化、公共施設における貯留浸透施設の整備、開発における雨水流出抑制施設の設置義務の強化などを検討する。事業の実施にあたっては、短期的・長期的に取り組むものを区分し、しっかりととした財政計画と効率的で効果的な整備計画を策定し、市民が安全で安心な暮らしが出来るよう推進する。

田谷区では、「クリーンセンター」について観察した。習志野市・千葉県習志野市と東京都世田谷区では、「ガス化高温溶融一体型直接溶融炉」は、最終処分量が減少し、環境性能にも優れていることであった。世田谷区の最終処分場は三十年間確保されているが、清掃工場の熱源に石炭を代替エネルギーの可能性の検討が必要とのことであった。

東京都杉並区では、「師範館」について観察した。ここは、杉並区教育ビジョンの基に「教育は人なり」を信条として設立された、杉並区立小学校の教員採用と直結した独自の教師養成機関である。子どもの可能性を引き出し人間性を育んでやける人間性豊かな教師の育成に取り組んでいる。

## 市議会ホームページをご覧ください

定例会や委員会の開催日程などをお知らせしています。  
市議会だよりや議長交際費の内訳も見ることができます。

アドレスは……

<http://www.city.kasuga.fukuoka.jp/gikai/index.html>

七月十五日から十七日の三日間、観察研修を行つた。

田谷区では、「クリーンセンター」について観察した。習志野市・千葉県習志野市と東京都世



東京都杉並区の師範館



十一月定例会  
会期日程予定

一日 本会議（議案の上程、提案理由の説明、議案の考案）  
二日 休会（議案の考案）  
三日 本会議（議案質疑、委員会付託）  
四日 議会運営委員会  
五日 休会（閉庁）  
六日 休会（閉庁）  
七日 各常任委員会  
（議案審査）  
八日 各常任委員会  
（議案審査）  
九日 本会議（一般質問）  
十日 本会議（一般質問）  
十一日 常任委員会（議案採決）  
十二日 休会（閉庁）  
十三日 休会（閉庁）  
十四日 調査事件の調整等）  
十五日 本会議（委員長報告、質疑、討論、採決）

※都合により  
変更になる場合があります。